

同志社女子大学

## 生活科学会通信

No. 66

2025 年 6 月

同志社女子大学  
生活科学会

## 大阪万博の開催にあらためて思うこと

村上 恵 (生活科学会長)

四月一三日から大阪・関西万博が開幕しました。この機会に少し万博のことを調べてみると、NHK・News Web 大阪・関西万博 開幕【Q & A 解説】そもそも万博って? というページに次のような記載(一部編集)がありました。

万博の正式名称は国際博覧会または万国博覧会、一九二八年に締結された国際博覧会条約に基づいて開催されます。その開催目的は現在では、地球規模の課題解決に寄与することです。これまでの万博で出展された有名なものは、一八五三年ニューヨーク万博「エレベーター」、一八七六年フィラデルフィア万博「電話」、一八八九年パリ万博「エッフェル塔」、一九七〇年大阪万博「動く歩道」。

このように今では当たり前になっていく技術が、万博をきっかけに世界に広がり、私たちの生活は格段に便利になりました。二〇二五年のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」、そのコンセプトは「People's Living Lab—未来社会の実験場」、これまでにない新しい技術や革新的なアイデアを実験するような場の提供です。今回はどんな新しい技術が世界に広がっていくのでしょうか。人間洗濯機や空飛ぶ車、*digital* 心臓は実現するでしょうか。この万博では海外から一五八の国と地域、七つの国際機関が参加、国内からも公的機関が四、民間が一三、八人のプロデューサーが手

掛ける八つのパビリオンが出展しています。とても一日では回れそうにもありませんが、これだけの国や地域を一度に訪れることが不可能であることを考えると、日本に居ながらにして各国の最新の技術やその地域の文化の一端に触れることができる万博に一度は行ってみたいと思っています。私の場合は、やはり「食」に焦点をあてたいと思います。日本の「和食」はユネスコ無形文化遺産に登録されていますが、それは多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重する料理や栄養バランスがとれた食事であるといった側面だけでなく、和食の中に自然の美しさや季節の移ろいを表現することや年中行事との密接な関わりといった「自然を尊ぶ」という日本人の気質に基づいた「食」に関する「習わし」も含まれています。それと同様に、各国の「食」にもただその料理があるということだけでなく、その背景にある気候風土や人々の想い、そこには確かに人々の暮らしがあるということを少しでも感じたいと思います。そして日本も含めて、それらの国々がどんな未来を描いていくのか、持続可能な開発目標(SDGs)達成へどう貢献し、実現していくのかを「自分ごと」としてとらえ、どれだけ便利な世の中になっても、地球から多くの恩恵を受けていることに感謝の気持ちを忘れないと思います。

## 生活科学部短信

①人間生活学科の小崎眞先生(生命倫理学)、食物栄養科学科の田中雅彰先生(臨床病態学)が2025年3月をもって退職されました。長年に渡り本学の教育・研究両面において多大な貢献をされました。

②4月より食物栄養科学科に高田大輔先生(臨床病態学)が新たに着任されました。

③生活科学部長の山本寿先生と、食物栄養科学科主任の杉浦実先生が2025年3月をもって任を終えられ、4月より生活科学部長に真部真里子先生が、食物栄養科学科主任に神田知子先生がそれぞれ就任されました。人間生活学科主任は藤本純子先生が、昨年度に引き続き任にあたられます。

④第39回管理栄養士国家試験の全国の平均合格率48.1%、全国管理栄養士養成施設(新卒)の平均合格率80.1%に対し、本学管理栄養士専攻新卒の平均合格率は97.8%(93名中91名合格)でした。

# 天高き所から私達を見守ってくださっている黒澤先生へ

一九八四年度卒業 柴田



## ◆黒澤祝子先生略歴◆

一九三七年二月一日出生  
同志社女子大学文学部家政学専攻卒業  
一九六〇年三月 同志社女子大学研究助手  
一九六三年四月 同志社女子大学専任講師  
一九六七年四月 同志社女子大学助教授  
一九七五年四月 同志社女子大学教授  
一九八五年四月 同志社女子大学教授

一九八九年三月  
二〇〇三年四月

農学博士(大阪府立大学)  
同志社女子大学特別任用教授  
この間、学生主任・食物栄養科学科主任・生活科学部長・家政学研究科長を歴任  
退職  
同志社女子大学名誉教授  
二〇〇八年三月  
二〇〇八年四月  
二〇一五年三月一五日 永眠、八七歳

今日の教え子達の歩みは如何でしたか。同女卒業生に相応しい一日を過ごせましたねと言っていただけでしょか。

調理学ゼミ生としてドキドキしながら研究室をノックした日。未

熟ながらも一生懸命取り組んだ卒業論文。実験や官能検査で得られたデータを整理して結論を導き出した次の課題に向かう毎日でした。研究の楽しさや難しさ、奥深さを学ぶ中、先生と助手さんも一緒に

囲んだランチや、パティシエから習ってこれたおしゃれなケーキや鳩サブレ付きのティータイムでは女子トークで盛り上がりましたね。学生時代が懐かしく思い出されます。

社会に出てからも人間関係や子育てに悩んだとき、優しく寄り添いそつと背中を押してくださいました。いつも私達の体調やメンタルを気遣ってくくださる先生に甘えてばかりでした。

退任後も「食」を多方面から探求され、ミス・デントンのレシピ集の編集に尽力しておられました。また、長年に亘って続けたられた語学講座視聴やフラダンスのレッスン・・・と世界をどんどん広げていらつしやいました。お食事会の外出も楽しい時間でした。お好み焼きをへらで食べてみたい、遊園地に行きたい等、お茶目で可愛いリクエストもいたっていましたね。新型コロナウイ

ルス感染症対策のため実現できなかったことが残念です。常に前向きに学び続ける姿を示してくださった先生は、これからも私達の憧れであり目標です。今はゆっくりお休みくださいますように。大切にしてこられた讃美歌を通して御魂の安らかなることを祈ります。

われ 弱くとも 恐れはあらじ  
わが主イエス わが主イエス  
わが主イエス われを愛す  
感謝を込めて



# 西野幸典先生を偲んで

小切間美保



## ◆西野幸典先生略歴◆

一九三八年四月二七日出生  
一九六五年三月 京都大学医学部卒業  
一九七〇年三月 京都大学大学院医学研究科博士課程修了  
一九七四年二月 京都大学医学部助手(衛生学教室)  
一九八三年一月 医学博士(京都大学)  
一九八六年四月 同志社女子大学教授

二〇〇四年四月

同志社女子大学特別任用教授  
この間、学生主任、生活科学部長・生活科学研究科長を歴任  
退職  
同志社女子大学名誉教授  
二〇〇五年九月  
二〇〇六年四月  
二〇一四年五月一四日 永眠、八六歳

西野先生はゼミの恩師で、35年以上ご指導をいただけてきました。先生のお人柄をひと言で表すと「強いものには強く、弱いものには優しく」です。卒業生同士で

生が、二〇二四年五月一日ご逝去されました。86歳でした。

最後にお会いできたのは、二〇二二年六月の三四会でした。ご退職後、西野先生は臨床医としてお忙しく、また私も日々のことに追われ、ほとんどお会いする機会が持てなかったのです。三四会でお会いできて大変嬉しく思いました。

亡くなられてから知りました。私は、ゼミの一期生でした。想像するに、慣れない女子大の雰囲気戸惑いながらも、学生を温かく見守ってくくださっていたのだと思います。先生はいつも冷静でクールな印象ですが、ご発言内容はお茶目でユーモアがあり楽しい先生でした。その一方で、理不尽なことを改革すべきことには、理路整然と、しかも熱く意見を述べられ、私たちがしっかりと社会に目

を向けるよう導いてくださっていました。

西野先生のことを話題にする度に、皆が口をそろえて「いつも私たちのことを大切に考えて、助言をくださった」と感謝しており、

「変わらなずお元氣そうでよかったです。」と思いましたが、既にその頃に体調を崩されていたことを、

二〇〇一年、西野先生は学部長兼研究科長として、医療機関との連携を前提にした臨床栄養学コースという、当時としては大変斬新な連携大学院構想を実現されました。病院で管理栄養士としてインターンシップを行い修士論文にまとめる、または既に働いている管理栄養士が自身の臨床研究を修士論文にまとめるというコースで

二〇〇一年、西野先生は学部長兼研究科長として、医療機関との連携を前提にした臨床栄養学コースという、当時としては大変斬新な連携大学院構想を実現されました。病院で管理栄養士としてインターンシップを行い修士論文にまとめる、または既に働いている管理栄養士が自身の臨床研究を修士論文にまとめるというコースで

す。20余年後の二〇二三年にやっとそれを改革し、実践栄養管理学科コースと改めましたが、そのことをきちんとご報告できていなかったことがとても悔やまれます。

今でも、悩ましいことに直面すると「西野先生はどのように判断されるのかな。お聞きしたいな。」と思います。どうかいつまでも、私たちに寄り添って叱咤激励してくださいます。西野先生、これからもよろしくお願いたします。

同志社女子大学特別任用教授  
この間、学生主任、生活科学部長・生活科学研究科長を歴任  
退職  
同志社女子大学名誉教授  
二〇〇五年九月  
二〇〇六年四月  
二〇一四年五月一四日 永眠、八六歳

二〇〇一年、西野先生は学部長兼研究科長として、医療機関との連携を前提にした臨床栄養学コースという、当時としては大変斬新な連携大学院構想を実現されました。病院で管理栄養士としてインターンシップを行い修士論文にまとめる、または既に働いている管理栄養士が自身の臨床研究を修士論文にまとめるというコースで

二〇〇一年、西野先生は学部長兼研究科長として、医療機関との連携を前提にした臨床栄養学コースという、当時としては大変斬新な連携大学院構想を実現されました。病院で管理栄養士としてインターンシップを行い修士論文にまとめる、または既に働いている管理栄養士が自身の臨床研究を修士論文にまとめるというコースで

二〇〇一年、西野先生は学部長兼研究科長として、医療機関との連携を前提にした臨床栄養学コースという、当時としては大変斬新な連携大学院構想を実現されました。病院で管理栄養士としてインターンシップを行い修士論文にまとめる、または既に働いている管理栄養士が自身の臨床研究を修士論文にまとめるというコースで

同志社女子大学特別任用教授  
この間、学生主任、生活科学部長・生活科学研究科長を歴任  
退職  
同志社女子大学名誉教授  
二〇〇五年九月  
二〇〇六年四月  
二〇一四年五月一四日 永眠、八六歳

二〇〇一年、西野先生は学部長兼研究科長として、医療機関との連携を前提にした臨床栄養学コースという、当時としては大変斬新な連携大学院構想を実現されました。病院で管理栄養士としてインターンシップを行い修士論文にまとめる、または既に働いている管理栄養士が自身の臨床研究を修士論文にまとめるというコースで

二〇〇一年、西野先生は学部長兼研究科長として、医療機関との連携を前提にした臨床栄養学コースという、当時としては大変斬新な連携大学院構想を実現されました。病院で管理栄養士としてインターンシップを行い修士論文にまとめる、または既に働いている管理栄養士が自身の臨床研究を修士論文にまとめるというコースで

二〇〇一年、西野先生は学部長兼研究科長として、医療機関との連携を前提にした臨床栄養学コースという、当時としては大変斬新な連携大学院構想を実現されました。病院で管理栄養士としてインターンシップを行い修士論文にまとめる、または既に働いている管理栄養士が自身の臨床研究を修士論文にまとめるというコースで

二〇〇一年、西野先生は学部長兼研究科長として、医療機関との連携を前提にした臨床栄養学コースという、当時としては大変斬新な連携大学院構想を実現されました。病院で管理栄養士としてインターンシップを行い修士論文にまとめる、または既に働いている管理栄養士が自身の臨床研究を修士論文にまとめるというコースで

## 生活科学部の新しいスタッフの紹介



臨床病態学研究室  
高田 大輔

四月一日より臨床病態学研究室で教員としてお世話になりました。高田と申します。私は腎臓内科医として働いた後に、医療経済学教室で医学博士を取得後、厚生労働省やデジタル庁といった行政機関で働き、その後大学教員を経て同志社女子大学で働かせていただくことになりました。もともと学生の頃から漢方や中国医学に興味があり、日本漢方のみならず南京中医药大学や上海中医医院等で勉強さ

せて頂く機会を得ておりましたが、その頃から栄養介入の重要性に興味を持っておりました。臨床に出てからは、まずは医療を学問として推進するための技術を身に着けることに重点をおき、臨床疫学・データサイエンスに努めて参りました。

研究テーマとしては、健康と医療の橋渡しをするために、健康データを用いて行動変容は無関心期の方は関心期になるだけでは医療アウトカムは変わら

ず、準備期まで到達してこそ、その後の腎機能低下を有意に抑制する事を報告し、症例報告では抗生剤で難治性の感染症に対して栄養介入を徹底的に行うことで感染症を寛解にもついていた報告等を行って参りました。また最近では、学会発表を行っている医療機関ではエビデンスに基づく治療を行う事で急性心筋梗塞の予後が良かった事等、現場で何をすれば良いのかに関する臨床疑問を解決するために

## ご退職の先生からのメッセージ

## 退職にあたり、感謝を込めて

小崎 眞

同志社女子大学生生活科学会の皆さま、二〇〇三年の着任以降、20余年にわたり大変お世話になりました。特にゼミを通して、学生との研究教育活動は当方の学びを深める上で、貴重な宝となっています（修士論文1、卒業論文246…1期生・21期生）。

偶然にもキリスト教主義教育に長きにわたり携わる機会を与えられました。本学着任の際には、当時学長であった森田先生と小坂総務部長が割愛のために前職の大学まで「足労頂き、身の引き締まる思いを抱きました。にもかかわらず、前任地（東京都）で関わっていた少林寺拳法の大会中にアキレス腱断裂となり松葉杖で着任し、皆様に大変ご心配をお掛け致しました。

着任後は、講義だけでなくゼミ（研究室）指導を担当することとなり、浅学ではありましたが「生命倫理学」の研究・教育の機会を与えて頂き、大学教育

の醍醐味に触れることとなりました。かつて関心を寄せていた「体外受精や脳死移植」といった生命の課題に対して哲学的思考を深化させることができました。それらの研究教育活動を通して、聖書やキリスト教に関しても多方面からの熟考の時を醸成することへと導かれ、自分自身のキリスト教理解や神学姿勢を俯瞰することとなりました。結果、キリスト教文化等の価値観に閉塞することなく、ゼミ生たちとの対話を通し、多義的に生命を捉え、思索を深める時を与えられたことは、神学研究においても貴重な視座を構築することとなりました。

在職中は教職員組合委員長も務め、兼務職として宗教部等をはじめ、教務主任や学科主任の時を与えられ、学科・学部運営

に携わる事で、前職とは異なる学びがありました。定年を前に、学長職を与えられた3年間とは新たなトリガー（引き金）となり、自分自身を再検証し、女性教育の意義やキリスト教主義教育の本質を模索する機会でもありました。この間、身近な方が急逝することもあり、死生に関する議論の意義に対して再考を迫られました。そのような中、ゼミ生との対話を通し、語り得ないことを携え続けることの意義を探索することへと促されました。生命に関する多様な問いに對峙し、先達の叡智と対話を重ね、自身の内奥に噴出する言葉を紡ぐことの意義に目覚めることができました。本学にて学び得た宝に磨きをかけ、新たな歩みへと呼び出されたく思います。

最後に、生活科学学会員の皆さまの益々のご健勝をお祈りして退職の挨拶とさせていただきます。お元気で！また、どこかで！

## 生活科学会 大会報告

第五十八回同志社女子大学生生活科学会大会を二〇二四年七月三日（水）午後三時から楽真館一階ラーニング・コモンズにて吉田香先生を会長として開催しました。

総会では、二〇二三年度事業報告および決算報告、二〇二四年度事業計画および予算についての審議を行い、承認されました。

続いて、株式会社オサレカンパニー取締役兼クリエイティブディレクター 茅野しのぶ氏による講演会「衣装から読み解く自分の長所の見つけ方・伸ばし方」を開催しました。

講演では、予め提出しておいた学生からの質問にお答えいただくとともに、茅野先生の体験に基づき、自分の一番の長所を知って伸ばすことにより評価を得ることができ、チャンスをつかむことができること、また自分の長所を知ることにより自分に自信を持つことができ、さらに自信を持って行動することにより存在感が増して自ずとその人に仕事が集まることなど、

お話いただきました。茅野先生が手掛けられた衣装の展示もあり、参加者の大半を占めていた学生にとって学びの多い貴重な講演会となりました。



## 見学会報告「テーブルマナー（フランス料理）を学ぶ」

先日、生活科学会の一員として「都ホテル京都八条」にてテーブルマナーについて学んできました。天候はいくくの大雨でしたが実りある学習ができたと感じています。お食事は彩りの良い前菜に始まり、舌触り滑らかなコンソープ、特に鯛のポワレは、フォークでほぐすことのできる柔らかさに、アメリカンソースとの相性が抜群で一口、また一口と手の止まらない一品でした。

今回、テーブルマナーの基礎から話す内容など、細かい部分まで丁寧にご教授いただきましたが、最も印象的だった一言が、「一緒に食事をする方と合わせるのマナーです。もし間違っているに気づいたなら一緒に間違えましょう。」でした。私はこれを聞いて衝撃と安堵を覚えしました。実際にテーブルマナーを学ばせていただいて、多くの学びを得た反面、実用できるかとても不安に感じていました。しかし、最後にこの一言を聞きテーブルマナーの真意を教わり、また一つ女性としての段階をレベルアップ出来たように思います。

まだまだ、反復して練習しておく必要はありますが、まずはその場にいる人と食事を楽しむこともテーブルマナーの一つでもあるので、生活科学生として料理を楽しむことを忘れないように、一人の女性として成長したいと思える会でした。

（SK4年）



## 研究会報告「京友禅型絵染め体験」

先日、京友禅体験工房の丸益西村屋さんにて、京友禅の染物体験をさせていただきました。私自身ものづくりに興味があることと、以前大学の授業で京友禅について詳しく学び、その美しさや京友禅独自の染色工程に興味を持ったため、今回この研究会に参加させていただきました。

今回私が体験したのは、京友禅の中でも型友禅の摺込友禅という技法のものでした。たくさん用意された型紙の中から好きな絵柄を選び、自分が染めたい物の上にその型紙を置き、刷毛を使って色を刷り込んでいきます。何色もの染料を使うことによって、自分の好きな色や濃淡を表現するのですが、もともと用意された色は赤や青、黄色、緑などの濃くて原色に近い色しか用意されていません。京友禅のあの繊細な色は、染料を混ぜて作るのではなく、薄い色から順に何層も重ねて色を作るのです。そのため、人によって生み出す色やグラデーションは多種多様で、同じ色を使っても全く別の色の表情を見ることができ、とても面白かったです。

今までは、完成された作品や商品としてしか触れてこなかったものを、自分が今回体験することによって、より京友禅の美しさや繊細さを肌で感じる事ができ、とても良い経験ができました。自分の手で色を重ね、染めたため、完成した作品はとても愛着の湧くものとなりました。貴重な機会をありがとうございました。

（L3年）





『同志社女子大学生活科学』第五十八巻・内容

(二〇二五年発行)

学会では年一回会誌『同志社女子大学生活科学』を発行しています。

二〇二四年度は第五十八巻を発行しました。卒業生の方で購読ご希望の方は五百円(送料込み)をお振込みの上お申し込み下さい。折り返し会誌をお送りします。バックナンバーもございます。また、四十四巻から論文を本学のホームページ上で公開しています。なお、会員の方はどなたでもこの会誌に投稿することができます。投稿規定と原稿の書き方は生活科学会 Web サイトにてご確認ください。原稿締切りは毎年十月中旬です。

〈原著論文〉

「メンヘラ」系アイドルの登場(Ⅲ)

——『大森靖子』による新しい世界の創造——

諸井 克英

女子大学生におけるファッション流行志向性と

ファッション・リスク懸念との関連性………

諸井 克英・梅村 美稀

低カロリー甘味料の単独および併用摂取がラットの脂質代謝に与える影響

………森 紀之・松下 朋子・笹生明日香・小田悠里名

〈資料〉

数のつく食べ物(15) 名前に数字の千六百がつく食べ物………

森田 潤司

数のつく食べ物(16) 名前に数字の万がつく食べ物(その1)………

森田 潤司

数のつく食べ物(16) 名前に数字の万がつく食べ物(その2)………

森田 潤司

数のつく食べ物(16) 名前に数字の万がつく食べ物(その3)………

森田 潤司

数のつく食べ物(16) 名前に数字の万がつく食べ物(その4)………

森田 潤司

数のつく食べ物(16) 名前に数字の万がつく食べ物(その5)………

森田 潤司

数のつく食べ物(17) 名前に数字の零がつく食べ物………

森田 潤司

2024 年度生活科学会決算書

(自 2024 年 4 月 1 日～至 2025 年 3 月 31 日)

(単位：円)

□経常会計

	項目	予算	決算
収入	会費	3,024,000	2,992,000
	寄付	0	0
	利息	150	3,160
	雑収入	108,000	108,183
	研究会運営費	15,000	7,000
	見学会所要費	30,000	27,000
	収入 計	3,177,150	3,137,343
支出	大会運営費	230,000	217,221
	研究会運営費	132,000	64,000
	見学会所要費	198,000	198,000
	備品費	0	0
	印刷費	650,000	489,068
	通信費	175,000	175,499
	交通費	3,000	960
	文具雑品費	70,000	39,595
	アルバイト費	600,000	664,795
	雑費	20,000	18,085
	租税公課	1,500	1,864
	奨学金運営費振替	0	0
	支出 計	2,079,500	1,869,087
	当年度収支差額	1,097,650	1,268,256
	前年度繰越金	12,278,074	12,278,074
	次年度繰越金	13,375,724	13,546,330

□奨学金会計

	項目	予算	決算
収入	利息	400	9,511
	寄付	0	0
	奨学金運営費	0	0
	収入 計	400	9,511
支出	奨学金	650,000	650,000
	支出 計	650,000	650,000
	当年度収支差額	△649,600	△640,489
	前年度繰越金	20,404,335	20,404,335
	次年度繰越金	19,754,735	19,763,846

奨学金のお知らせ

生活科学会では、本学生活科学部に所属する学生・院生に奨学金を支給しています。募集は9月に行います。詳細は同志社女子大学ホームページにてご確認ください。

生活科学会運営委員 (2025 年度)

(敬称略)

教 員	村上 恵 (会長)	齋藤 朱未 (副会長)	
	土井 幸輝	西村 公雄	奥村 仙示
	高田 大輔	塚田由佳里	吉田 香
卒業生			
院 生			
在学生	人間生活	食物科学	管理栄養
	4 年次		
	3 年次		
	2 年次		
	1 年次		
事務局	尼川佐知子		

## 研究室だより

### 服飾文化（平光）研究室

服飾文化研究室は新たに16名のゼミ生が加わり新年度を迎えました。3回生はファッション産業の仕組みや流れを学び、4回生は就職活動と並行して、各々興味をもったテーマで卒業論文に取り組みます。多忙な日々を過ごしていく中で、皆が健康に、そして充実した一年を過ごせるよう、精一杯サポートし共に学んでいきたいと思っています。

（助手 林 ）

### 被服造形（藤本）研究室

被服造形研究室は4回生12人、3回生15人でゼミをスタートしました。4回生は昨年度のゼミ活動や演習など今までの学びをもとに、手芸や色彩などそれぞれに興味があることを卒業論文のテーマに掲げ、調査や制作に取り組んでいます。今年も個性豊かなメンバーで仲良く協力し合いながら、楽しく服飾作品や論文制作に取り組みたいと思っています。

（ゼミ生一同）

### 居住環境（奥田）研究室

今年度は15名の3回生を迎え、計32名のゼミ生と共に新学期をスタートしました。3回生はグルー

プワークに、4回生と院生は、卒業論文、修士論文のそれぞれの研究テーマに積極的に取り組んでいます。私も助手として、皆様の大学生生活がより充実したものになるよう、精一杯サポートしていきたいと思います。

（助手 宮田 ）

### 居住空間（塚田）研究室

本研究室は今年度、新たに15名の3年生を迎え入れ、28名（4年生13名）になりました。これからゼミ生の皆様は、塚田先生のご指導の下、それぞれの研究や課題、就職活動に取り組んでいきます。すっかりコロナ禍も明け、より活発に様々な活動ができるようになった今、皆様が充実した一年を過ごせるようにお手伝いいたします。

（助手 水野 ）

### プロダクトデザイン（村井）研究室

今年度は15名の3年生を迎え、計27名になりました。4年生は卒業研究のテーマに向き合い、日々悩みながらも一生懸命励んでいます。昨年度は京都市の四条通地下道アート展で3年生のデザインが採択され、制作作品が展示されるなど、充実した学びの機会を得られました。より賑やかになった研究室で、助手として一層のサポートに努めて参ります。

（助手 山田 ）

### 地域計画（齋藤）研究室

地域計画研究室は、今年度新たに10名の3回生を迎え、4回生、大学院生と共に計23名でスタートを切りました。3回生は文献やグループワークを中心に、4回生と院生は論文に向けて調査を進めるなど、各目的の研究テーマに積極的に取り組んでいます。学生の皆様が実りある一年を過ごせるよう、私も微力ながら精一杯サポートしていききたいです。

（助手 西澤 ）

### 都市計画（麻生）研究室

今年度は3回生9名を迎え、16名となりました。今年度も3回生は奈良きたまちエリアを対象地とした民学官連携のまちづくりプログラムに参加し、地域課題解決に向けての提案を現地で行います。また、4回生は卒業論文執筆にむけて研究テーマを絞り、先行研究調査や資料収集を進めています。皆さんがより良い環境で学びを深められるよう、私も努めて参ります。

（助手 榎坂 ）

### ユニバーサルデザイン（土井）研究室

新たに15名の3年生を迎え、計30名のゼミ生と大学院生3名と

もに、本年度が始まりました。4年生は、スタイルラスによる操作性の評価、触る絵本の作製、触覚パズルの評価研究等、それぞれのテーマに取り組んでおります。私も土井先生と共に、微力ながら精一杯サポートしてまいります。

（助手 民田 ）

### 調理学（村上）研究室

本研究室は食物栄養科学科の学生11名と村上先生、助手の亀井さんの13名で活動しています。今年度は4チームに分かれ、高野豆腐を用いた酒の調理効果、白菜の冷凍処理、アルカリイオン水を用いたスバゲティの物性変化、調理学研究室の歴史について研究を行っていく予定です。ゼミ生として主体的に研究に取り組み、学びを深めていききたいと思っています。

（ゼミ生一同）

### 調理科学（真部）研究室

本年度は11名のゼミ生が4チームに分かれ、それぞれ官能評価や機器分析による研究をスタートしました。昨年度に引き続き醤油だしのテーマに加え、鰯節以外の雑節における呈味成分やおいしさの感じ方に着目した研究にも取り組めます。人数が増え、一層にぎやかな年になりそうです。学生にとっても実りある一年になるよう精

一杯努めてまいります。

（助手 丹下 ）

### 栄養教育学（片井）研究室

栄養教育学研究室は数年ぶりのゼミ活動を再開します。ゼミ生は3名、明るくたくましい皆さんをお迎えすることができました。全員でスポーツ栄養に関する研究に取り組んでいく予定です。卒業研究、就職活動、国家試験対策と忙しい毎日が予想されますが、その分実りの多い一年になるよう全力でサポートして参ります。

（助手 和田 ）

### 実践栄養学（小切間）研究室

今年度は、学童期、妊娠期、高齢期のライフステージに分かれて研究を行っています。ゼミ生同士で助け合い、一つ一つ経験を積み重ね、成長に繋げていきたいです。ゼミの他に就活等の相談にも乗ってくださる小切間先生、日々サポートしてくださる助手の村上さん、共同研究先の先生方にご指導いただき、充実した一年にしたいと思っています。

（ゼミ生一同）

### 基礎栄養学（鈴木）研究室

今年度は、鈴木先生と助手の古家さんと学生11名（食物1名、食管10名）で研究活動をスタートさせました。今年度から食物も食管

も卒業論文が必修となり、忙しさへの不安や卒業へのプレッシャーを感じますが、四年間の集大成として日々研究活動に精進します。鈴木先生、古家さん1年間よろしく願います！ (ゼミ生一同)

### 公衆衛生学(吉田) 研究室

今年度の公衆衛生学研究室は、11名のゼミ生が所属することとなりました。ゼミ生の皆様は、卒業研究・就職活動・国家試験とあわただしくなりますが、吉田先生のご指導の下、お互いに切磋琢磨しながら実り多い1年にしてほしいと思います。今年度から助手となり不慣れなことも多いですが、学生が充実した時間を過ごせるよう精一杯サポートして参ります。

(助手 廣谷 一)

### 公衆栄養学(今井) 研究室

いつも明るく、まいにち笑顔でいろいろな経験を通して日々成長とともに切磋琢磨し夢叶えようもつと食育活動が身近になる公衆栄養学研究室

(ゼミ生一同)

### 給食経営管理学(神田) 研究室

今年度は給食経営管理学研究室にゼミ生11名、大学院生2名が所

属することになりました。実習で2年次生の頃から関わってきた学生たちが、もう最終学年を迎えると思うととても感慨深いです。神田先生のご指導のもと、それぞれの研究に一生懸命取り組んでいます。彼女たちが充実した1年を過ごせるよう、微力ながらも精一杯サポートしていきたいと思ひます。

(助手 小倉 一)

### 臨床病態学(高田) 研究室

本年は高田が着任したところであり、授業を行いながら学生の興味やキャパシティに沿った研究テーマを開拓していきたいと思ひております。臨床医師としての経験者として、行政で技官としての経験を活かして、学問的な知識のみならず実践的な知見も学ぶことができる研究室を目指して精進して参りますので、どうか宜しくお願ひ申し上げます。

(高田大輔)

### 臨床栄養学(奥村) 研究室

奥村先生は着任後4年目を迎えられるました。第3期生11名(4年生)、大学院生9名(修士1年生4名、修士2年生5名)、助手1名の22名体制になりました。3

年が揃い、お互いに協力し、切磋琢磨しながら日々研究に励んでいます。学生の皆様が楽しく学ぶことができる環境や体制構築の一助

になるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

(助手 尾上 一)

### 生化学(倉橋) 研究室

今年度は食物1名、食管4名の元気で明るいゼミ生を迎えました。現在ゼミ生たちは、倉橋先生の熱心なご指導の下、卒業論文に向けてトレーニング中です。ま

た、就職活動や国家試験の勉強にも励んでいます。私自身もこの春から勤務し、まだまだ慣れないこ

とばかりですが、日々学びを積み重ねつつ、精一杯サポートしていきます！

(助手 川口 一)

### 食品微生物学(川崎) 研究室

食品微生物学研究室は賑やかなゼミ生11名を迎えスタートしました。今年度の卒業論文テーマは葉の抗菌性、自家培養発酵種の微生物解析、発酵食品中のGABAに

ついての3つとし、各チーム研究

活動に取り組んでいます。学生生活最後の1年で互いに切磋琢磨しながら大きく成長し、笑顔で卒業できるよう、川崎先生と共に精一杯サポートしてまいります。

(助手 岡田 一)

### 食品物性学(山本) 研究室

11名の学生が本研究室に配属されました。実験操作の予備訓練と

オリエンテーションを終え、最近では本研究室の主テーマである澱粉糊化について勉強しています。今後は3つの研究テーマに分かれて、自分たちで実験計画を立てながら研究を進めていきます。ゼミ生がスムーズに研究できるよう、助手として精一杯サポートしていきたいと思ひます。

(助手 小池 一)

### 食品栄養学(森) 研究室

今年度、食品栄養学研究室は11名の学生を迎えました。4年次は授業や研究活動、就職活動、国試対策と忙しい1年ですが、出だしからしっかりと一つひとつに向き

合って頑張っている学生を見て、私自身も力をもらっています。仲間と切磋琢磨しながら、楽しみながら成長してもらえよう、微力ながらサポートしていきたいと思ひます。

(助手 橋本 一)

### 食品加工学(西村) 研究室

西村先生が今年度でご退職されますので、ゼミ生の配属はなく、西村先生と助手の2人体制です。そのため、西村先生は例年よりゆとり過ぎられています。私は助手1年目ではありますが、微力ながら精一杯西村先生の最後の1年をサポートさせて頂く所存です。

本ゼミ卒業生の皆さま、西村先

生にご挨拶を考えておられる場合はどうぞお越しくください。

(助手 山崎 一)

### 食品機能学(杉浦) 研究室

今年度、食品機能学研究室は11名のゼミ生と1名の院生を迎えました。就職活動で多忙な中、慣れない分析機器の扱いに格闘しつつ、互いに協力しながら与えられた課題に積極的に取り組んでいます。私自身、助手1年目で不慣れなことが多いですが、彼女たちの学生生活最後の1年が楽しく充実したものになるよう、精一杯サポートしていきたいと思ひます。

(助手 荒木 一)

### 運動生理学(米田) 研究室

今年度、本研究室には11人のゼミ生が所属しています。運動が心身に及ぼす影響について研究しており、測定機器を用いて身体の変化を感じながら学びを深めています。日常生活に身近な運動を探索する中で、研究の面白さを実感しています。学生生活最後の一年、互いに励まし合い、協力しながら充実した日々を過ごしていきたいです。

(ゼミ生一同)

## 生活科学会第五十九回大会案内

日時 七月二日(水) 午後三時  
場所 楽真館一階ラーニング・コモンズ

## 一、総会

会長挨拶

二〇二四年度事業報告および決算報告

二〇二五年度事業計画案および予算案審議

## 二、講演会

「女性のライフステージと健康…

産婦人科医が伝える、

健やかな未来への準備」



澤田 守男氏(医療法人財団今井会 足立病院院長)

健やかな未来は、自分のカラダを知ることから始まりま  
す！

女性のカラダはライフステージごとに大きく変化し、それ  
ぞれの段階で特有の健康課題が存在します。産婦人科医の立  
場から、将来ある同女生や卒業生の皆さまと一緒に、「女性  
のライフステージと健康」について考えてみたいと思いま  
す。

## 〈講師紹介〉

京都市中京区において開設百二十三年を迎えた、医療法人  
財団 足立病院の七代目院長。

京都出身、京都府立医科大学卒業。

「京都というまちが、女性にとって住みよい場所であって  
欲しい。そのために、女性の一生をサポートする病院を展開  
してまいります！」

## 見 学 会

### 今日からあなたも“おたべ通”！ 京菓子の魅力に出会うひととき

内 容 生八つ橋の生地作りから、三角形のおたべ  
に仕上げるまでの工程をじっくりお楽しみ  
いただける体験です。工場見学もできま  
す。

## 【アレルギー確認】

乳製品、小麦、大豆、オレンジ

日 時 2025 年 9 月 20 日(土) 10:30~11:30

場 所 おたべ本館  
京都府京都市南区西九条高島町 35-2  
近鉄十条駅 徒歩 10 分

集合時間 10:00 までに現地集合

参 加 費 無料

定 員 32 名

受付期間 2025 年 7 月 21 日(月)~25 日(金)  
(要申込、申込多数の場合抽選となる可  
能性があります)

## 研 究 会

## 京町家で学ぶ 正しい珈琲講座

内 容 日々の暮らしを豊かにする珈琲。ペーパ  
ードリップで淹れる美味しい珈琲の淹れ  
方を学び、焙煎による味の違いを飲み比  
べ、奥深い珈琲の世界を探究しましょ  
う。

講 師 自家焙煎珈琲店 カフェ デ コラソン  
マスター 川口勝さん

日 時 2025 年 10 月 8 日(水) 15:15~16:45

場 所 草と本  
京都市上京区水落町 87-2  
地下鉄「今出川」駅 徒歩 10 分  
<https://kusatohon.com/access/>

集合時間 15:10 までに現地集合

参 加 費 500 円

定 員 30 名

受付期間 2025 年 7 月 21 日(月)~25 日(金)  
(要申込、申込多数の場合抽選となる可  
能性があります)

## 問い合わせ先

同志社女子大学生生活科学会  
〒602-0893 京都市上京区今出川通寺町西入  
(E-mail) hlgakkai@dwc.doshisha.ac.jp  
(TEL) 075-251-4211  
(Web サイト)

<https://hlgakkaidwcla.com/>


## 申込方法

研究会・見学会のお申込みは、生活科学会 Web サイト内申込フォーム、E-mail、ハガキのみとさせていただきます。必ず、氏名・住所・メールアドレス(お持ちでない方は電話番号)・学籍番号もしくは卒業年を明記してください。